



市川市立高谷中学校だより 12月号

# 輝く若木



令和元年12月2日

## 師走（しわす）

今年、元号が「平成」から「令和」に変わった記念すべき年でした。そして、いつの間にか今年も残すところ1か月、月日が経つのは本当に早いものです。12月は、別名師走（しわす）といわれます。師走とは、本来は旧暦の12月の別称だそうですが、いまでは新暦の12月のこととして普通に用いられています。師走の意味としては、師は先生やお坊さん、お師匠さん、兵隊さんなどという意味で、「師がとにかく忙しく走りまわる時期である。」という説や、師は仕事の意味で、仕事が終わる、為すことが終わる、季節や年が終わる、という意味の説もあるそうです。いずれにしても忙しい時期であることは間違いありません。体調管理には気をつけて1年を締めくくりたいと思います。そして、令和となった今年も多くの災害に見舞われました。特に関東地方も2つの大型台風により、多くの被害に見舞われ、まだ復興途中の地域もあります。高谷中も今年より、生徒の災害用の備蓄食を準備しました。四字熟語で「居安思危」（きょあんしき）という言葉があります。「普段から万が一のことを思い、常に用心を怠らないようにすることが大切である。」という戒めの言葉だそうです。危機管理として、常に忘れずにいたい言葉です。

### 校長室より・・・

皆さんは、この1年間を振り返ってみていかがでしたか。自分なりに頑張ったこと、反対に努力が足りなかったこと、などを振り返り、来年の生活に活かしてほしいと思います。3年生の入試に向けての校長面接も終わりに近づいてきました。3年生の一人ひとりが皆、真面目に一生懸命に臨んでいる様子は、とても頼もしく感じます。また、3年生の皆さんの真摯な態度から、私も元気をもらいました。皆、緊張の中にも、自分の考えをしっかりと答えていました。普段の自分を素直に表せば良いと思います。面接というものは、高校入試だけではなく、これから社会人になってもずっと続くものです。もう一度面接練習をしたい人は、担任の先生に申し出て下さい。



## 義務教育学校設置に係る説明会

11月26日（火）に体育館において、義務教育学校設置に係る説明会が開かれました。市川市教育委員会の担当者より、今後の計画、検討組織の設置などについて説明がありました。約50名の参加者の方から、質問やご意見も多くいただきました。次回は12月6日（金）午前10時30分より、信篤小で開催します。いただいたご質問やご意見は今後、検討委員会で協議していくこととなります。

（いただいたご質問やご意見 一部）

- ・小中一貫校の給食の運営。
- ・小規模校から大規模校になることによる子供たちのギャップ。
- ・台風時などの高谷中の周辺環境。
- ・通学路の安全や通学バスの運用。
- ・小中一貫校の制服。
- ・小中一貫校の卒業式などの式典。



## 朝のあいさつ運動

朝、随分寒くなってきましたが、その中で学級代表の皆さんが、交代で昇降口前に立って、「朝のあいさつ運動」をやっています。入試に向けて、3年生の校長面接の中で、「あなたの通っている高谷中はどういう中学校ですか？」という質問に、多くの3年生が、「高谷中の良い点は、生徒がしっかり挨拶ができることです。」と答えてくれます。「挨拶（あいさつ）」という漢字は相手に心を開くという意味を含んでいるそうです。ぜひこの良い伝統は続けていきたいものです。

## 部活動 活動の記録

バドミントン部	市民体育大会 女子団体3位	女子ダブルス優勝
	支部新人大会 女子団体3位	女子ダブルス3位
柔道部	支部新人大会 男子90kg 超級準優勝	
	市民大会無段者の部 3位	中学2年の部準優勝
陸上部	支部新人大会女子4×100リレー2位	
	支部新人大会男子110mH 2位	
	支部新人大会1年女子100m 3位	
	支部新人大会・習志野市民総合大会 男子砲丸投げ	1位
	船橋市会長杯中学生陸上競技大会 男子砲丸投げ	1位
バレーボール部	支部新人大会第位	県大会2回戦進出
バスケットボール部	ちばジュニア強化指定選手証	